

第7章 街づくり

◆施策体系

誰もが安全で快適に暮らせる自然と調和した街づくりを進めます	1 土地利用
	1 計画的かつ合理的な土地利用の推進
	2 所沢らしい景観まちづくりの推進
	3 基地返還と跡地利用の促進
	2 市街地整備
	1 所沢駅周辺のにぎわいのある街づくりの推進
	2 安心・安全に暮らせる街づくりの推進
	3 市街地整備の適正な誘導
	3 道路
	1 道路計画の推進
	2 幹線道路の建設推進
	3 生活道路の整備推進
	4 歩行者・自転車環境の整備推進
	5 道路環境の整備
	4 交通
	1 交通政策の推進
	2 安全で快適な交通環境の整備
	3 鉄道・バスなどの公共輸送の充実
	5 上水道
	1 水資源の確保と有効利用
	2 安全な水の安定供給
6 下水道	
1 下水道事業経営の効率化	
2 生活環境の改善と公共用水域の水質保全	
3 災害に強い下水道整備の推進	
7 住宅・住環境	
1 安心・安全で良好な住宅や住環境整備を推進	
2 適正な公営住宅の管理・運営	
3 住生活の安定と質の向上	

第1節 土地利用

～ 魅力あるまちとして、人が集うまち ～

7-1-1 計画的かつ合理的な土地利用の推進

(千円)

最優先	都市計画基礎調査事業	都市計画課	新規	H28	13,000
			期間:H28	H29	
	概要	都市の健全な発展と秩序ある整備を図るために、都市計画の策定、見直し等を適切に行うことを目的として、都市計画法に基づいて、おおむね5年ごとに都市計画区域における人口規模や土地利用の現況等を調査するものである。			
					H30
				H31	
優先	街づくり支援事業	都市計画課	既存	H28	370
			期間:H17～	H29	241
	概要	所沢市街づくり条例に掲げる市民主体の街づくりの実現を目指す協議会に対して情報提供や助言、アドバイザーの派遣等による支援を行うとともに街づくりに関心のある市民に対し街づくり講座を開催する。			
					H30
				H31	110
重要	区域区分見直し事業	都市計画課	既存	H28	1,844
	用途地域見直し事業	都市計画課	既存	H28	0

7-1-2 所沢らしい景観まちづくりの推進

(千円)

優先	景観まちづくり支援事業	都市計画課	重点	指標	既存	H28	1,330
			期間:H23～			H29	1,311
	概要	所沢市の良好な景観の形成の実現に向け、「所沢市ひと・まち・みどりの景観計画」に基づき、市民主体の景観まちづくりの取り組みを支援する。					
							H30
						H31	1,311

7-1-3 基地返還と跡地利用の促進

(千円)

最優先	東西連絡道路整備事業	企画総務課		指標	既存	H28	207,000
			期間:H26～			H29	526,072
	概要	日米合同委員会にて合意された東西連絡道路用地返還に係る条件を満たすため、本市及び国で取り決めたそれぞれの負担区分により、基地内施設の新築・撤去及び東西連絡道路を敷設する。市の負担区分は倉庫・防火水槽等の建築や基地内道路の整備、既存倉庫等の撤去である。					
							H30
						H31	516,678

◆◆◆計画期間における目標指標

都市景観や街並みの満足度		都市計画課				
現状値	H25	目標値	H27	H28	H29	H30
	66.9		現状値以上			
単位:%		実績値	58.6			

【説明】 都市景観や街並みの施策に対する市民満足度を測る指標です。現状値は、平成25年度の市民意識調査の設問「あなたは、所沢市の景観や街並みに満足していますか」に対し、「満足」「まあまあ満足」と答えた人の割合です。目標値は、毎年度、現状値以上をめざすものです。

東西連絡道路の整備		企画総務課(基地対策室)				
現状	H26	目標値	H27	H28	H29	H30
	調査		設計	工事	工事	工事
単位:-		実績値	設計			

【説明】 米軍所沢通信基地で一部返還合意された東西連絡道路の整備進捗状況を示す指標です。上記の「現状」は、平成26年度の整備過程を表しています。目標は、平成28年度に工事着工し、計画的に整備を進めるものです。

第2節 市街地整備

～ 地域の特徴を活かした安全で活力ある街 ～

7-2-1 所沢駅周辺のにぎわいのある街づくりの推進

(千円)

最優先	所沢駅西口土地区画整理事業	所沢駅西口区画整理事務所	指標	新規	H28	499,104	
			期間: H13～H37		H29	1,052,900	
			概要 西武鉄道車両工場跡地を含む所沢駅西口地区については、本市の表玄関にふさわしい魅力と活力ある街を創出するため、土地区画整理事業と市街地再開発事業の一体的施行により、都市基盤の整備並びに計画的な土地利用を誘導する街づくりを行う。		H30	1,742,800	
					H31	1,218,400	
	旧市役所庁舎跡地等活用事業	経営企画課	重点	指標	既存	H28	0
			期間: H27～29		H29	0	
			概要 市の中心部に位置する旧市役所庁舎の将来的な活用に向けての調査、検討を行い、検討結果に基づく対応を行う。		H30		
					H31		
	所沢駅西口地区まちづくり事業	所沢駅西口区画整理事務所	指標	既存	H28	304,811	
			期間: H13～		H29	977,578	
概要 所沢駅西口土地区画整理事業と連動して、地区内における市街地再開発事業を推進する。また、駅周辺地域の回遊性を高めるため歩行者動線の整備・検討を進め、地域間の移動の利便性を図るため、都市計画道路所沢駅ふれあい通り線の整備を推進する。			H30	1,055,778			
				H31	2,010,278		
日東地区まちづくり事業	市街地整備課	指標	既存	H28	36,828		
		期間: H16～		H29	925,072		
		概要 日東地区は、所沢駅近接の商業地という地区の特性を踏まえ、民間活力による都市基盤の整備と街区の再編を一体的に図る市街地再開発事業等を支援・誘導するとともに、安全で快適な都市環境への改善並びに計画的で適正な土地利用を誘導する街づくりを進める。		H30	1,267,192		
				H31	1,316,021		

優先	ファルマン通り交差点改良事業	市街地整備課	既存	H28	8,099	
			期間: H26～H32		H29	140,205
			概要 中心市街地の活性化と安全性の高い街づくりを進めていくため、現在事業化を進める所沢東町地区第一種市街地再開発事業で整備する中央通り線の整備時期に合わせて道路改良事業を進め、ファルマン通り交差点の交通処理能力と安全性の向上を図る。		H30	171,422
			H31	187,202		
	(組合)優良建築物等整備事業補助事業	市街地整備課	既存	H28	0	
期間: H3～				H29	0	
概要 中心市街地の一部地区において、権利者が組織する組合が主体となって細分化された敷地を統合利用することで、公開空地等の確保を適切に誘導し、防災面の向上、市街地の環境の整備改善、良好な都市型住宅の供給を促進する優良建築物等整備事業に対し補助する。			H30	0		
				H31	0	

重要	所沢駅周辺まちづくり推進調整事業	市街地整備課	既存	H28	0
----	------------------	--------	----	-----	---

7-2-2 安心・安全に暮らせる街づくりの推進

(千円)

最優先	北秋津・上安松地区まちづくり事業	市街地整備課	既存	H28	10,422
			期間: S59～		H29
	概要 所沢駅近接地区にふさわしい街づくりを目指し、立地環境や関係者の意向を踏まえながら、土地区画整理事業により道路、公園、下水道等の都市基盤を総合的に整備し、防災面や住環境の向上を図り、安心・安全に生活できる街づくりを行うものである。		H30	265,123	
			H31	565,123	

優先	狭山ヶ丘土地区画整理事業	狭山ヶ丘区画整理事務所	既存	H28	220,000
			期間: S62～H33		H29
	概要 住環境の改善を図るため、道路、公園施設等の公共施設を計画的に整備し、良好な住宅地を供給するとともに、災害に強い街づくりの形成を図ることを目的として、施行面積29.7haにおいて土地区画整理事業を実施する。		H30	399,156	
			H31	266,405	

7-2-3 市街地整備の適正な誘導

(千円)

重要	地区計画推進事業	都市計画課	既存	H28	0
----	----------	-------	----	-----	---

◆◇◆計画期間における目標指標

所沢駅の1日平均乗降客数 市街地整備課・所沢駅西口区画整理事務所

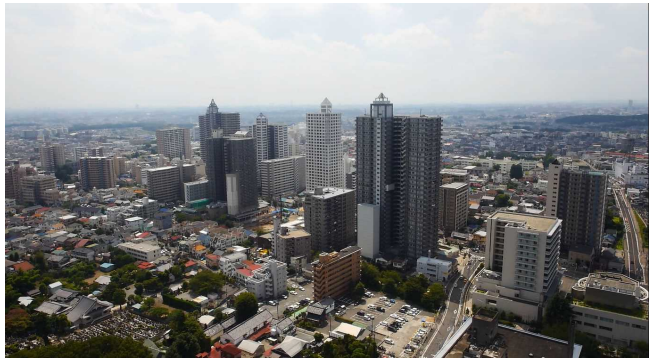
		H25		H27	H28	H29	H30
現状値	96,485	目標値	100,000	→			
	単位: 人		実績値	95,772 (H26)			

【説明】 本市の表玄関となる所沢駅の利用状況を示す指標です。
 現状値は、平成25年度の1日における平均乗降客数です。
 目標値は、平成30年度までに100,000人をめざすものです。

地区計画・建築協定の策定地区数 都市計画課・建築指導課

		H25		H27	H28	H29	H30
現状値	33	目標値	36	→			
	単位: 地区		実績値	34			

【説明】 市街地整備の取り組み状況を示す指標です。
 現状値は、平成25年度の地区計画・建築協定の地区数です。 ※所沢市街づくり条例による「街づくり協定」の地区数を含む
 目標値は、平成30年度までに36地区をめざすものです。



第3節 道路

～ 人と環境に優しく、誰もが安全・快適に道路を利用できるまち ～

7-3-1 道路計画の推進

(千円)

最優先	北野下富線道路築造事業	計画道路整備課	指標	既存	H28	860,743
			期間: H6～		H29	1,014,750
	概要	中心市街地の交通渋滞の緩和を図るため、本市の外環状道路として位置付けた国道463号バイパス小手指ヶ原交差点から県道所沢堀兼狭山線下富駿河台交差点まで延長5,500mの道路である。これまで延長3,550mが開通済みであり、全線開通に向けて整備促進を図る。			H30	684,000
					H31	500,000
	松葉道北岩岡線道路築造事業	計画道路整備課	指標	既存	H28	24,421
期間: H16～H29			H29	688,750		
概要	新所沢跨道橋通りから狭山市内の都市計画道路所沢狭山線を結ぶ延長2,860mの道路で、計画的な整備により交通の利便性の向上とともに交通渋滞緩和と安全確保を図る。これまで延長680mが開通済みで、現在は延長736mの整備区間の建設を進める。			H30		
				H31		
重要	(仮称)所沢バイパス整備事業	都市計画課		既存	H28	0
	所沢駅ふれあい通り線道路築造事業	計画道路整備課		既存	H28	0
	所沢村山線道路築造事業	計画道路整備課		既存	H28	0
	和田本郷線道路築造事業	計画道路整備課		既存	H28	0

7-3-2 幹線道路の建設推進

(千円)

重要	(県)東京狭山線道路建設促進事業	計画道路整備課		既存	H28	0
	(県)飯能所沢線道路建設促進事業	計画道路整備課		既存	H28	53,224

7-3-3 生活道路の整備推進

(千円)

最優先	市道4-1366号線(上藤沢・林・宮寺間新設道路)整備事業	道路建設課		既存	H28	118,143
			期間: H21～30		H29	80,000
	概要	三ヶ島地区の交通の利便性の向上、地域の活性化及び安心・安全な歩行空間を確保するため新設道路を整備するもので、本路線については、第1工区約740mのうち、人間市境から市内林地区へ至る所沢市分約460mを整備するものである。			H30	80,000
				H31		
優先	道路改良事業	道路建設課	指標	既存	H28	230,587
			期間: S25～		H29	234,200
	概要	狭い道路の幅広や交差点の改良を行い、安全性・利便性の向上や渋滞を緩和し、歩行者交通量の多い路線については、歩道を整備し、安心・安全な歩行空間の確保を目的として整備するものである。			H30	174,600
				H31	229,200	
重要	生活道路整備事業	道路建設課		既存	H28	151,000

7-3-4 歩行者・自転車環境の整備推進

(千円)

最優先	県道久米所沢線歩道整備事業	計画道路整備課		既存	H28	230,000
			期間: H26～H30		H29	4,000
	概要	都市計画道路中央通り線と一部分重複する県道久米所沢線の東住吉交差点から北へ向かい、市道1-579号線先の延長140mの区間について、歩行者の安全を確保するため、歩道整備に係る用地を取得するものである。			H30	4,000
					H31	
優先	市道4-245号線(ハナミズキ通り)歩道等整備事業	道路建設課		既存	H28	200,000
			期間: H19～28		H29	
	概要	地震などの自然災害に対する道路の防災機能の強化や、安心・安全な歩行空間の確保、街なみ景観の向上および生活環境を図るため、バリアフリー構造の歩道整備と電線類の地中化を行うものである。			H30	
				H31		
重要	新所沢駅西口駅前広場改修事業	計画道路整備課		既存	H28	0

7-3-5 道路環境の整備

(千円)

最優先	清流苑第二の橋築造事業	道路建設課		既存	H28	42,684
			期間: H26～30		H29	150,000
	概要	所沢市側への接続通路が、現在、新柳瀬橋しかない下安松の清流苑地区での、災害時における避難路等の確保のため、新たに「第二の橋」として築造整備するものである。			H30	50,000
					H31	

優先	横断歩道橋修繕事業	道路維持課	新規	H28	5,900
			期間:H28~	H29	5,000
	概要	今後予想される道路施設の老朽化を踏まえて、道路法等の改正により道路管理者の責任による定期点検が義務付けられ、具体的な基準等が設けられたことをふまえ、予防保全の観点から点検・診断・修繕を行い、その記録を残してメンテナンスサイクルを確立する。		H30	7,000
				H31	7,000
	橋りょう長寿命化修繕事業	道路維持課	既存	H28	37,657
			期間:H26~	H29	77,000
	概要	橋りょう長寿命化修繕計画の対象橋りょうはもとより、全ての市管理橋りょうを計画的に修繕することで、維持管理費の縮減及び財政負担の平準化を図る。平成28年度は武蔵野線を跨ぐ3橋の点検と診断、8橋の落橋防止装置の設計及び1橋の修繕工事を行う。		H30	63,000
				H31	14,000
	道路施設維持管理事業	道路維持課	既存	H28	605,573
			期間:S25~	H29	661,890
概要	市民からの通報や道路パトロールで発見した道路損傷箇所について、速やかに修繕等の対応を図ることで道路利用者の安全確保と沿道の生活環境の保全を図る。また、交通量の増加や経年劣化の影響で傷みの進む幹線道路等について、計画的に改修を行う。		H30	686,603	
			H31	716,266	
重要	道水路確定測量事業	建設総務課	既存	H28	2,800
	道水路境界確定事業	建設総務課	既存	H28	3,108
	道路照明灯維持管理事業	建設総務課	既存	H28	155,552
	防犯灯補助事業	建設総務課	既存	H28	90,774
	道路舗装事業	道路建設課	既存	H28	2,500
	街路樹管理事業	道路維持課	既存	H28	99,000
	放置車両処分事業	道路維持課	既存	H28	52
	路上違反広告物除却事業	道路維持課	既存	H28	1,307

◆◇◆計画期間における目標指標

都市計画道路の整備状況		計画道路整備課				
	H25	H27	H28	H29	H30	
現状値	69	→				71
単位:%	実績値	70	/			

【説明】 都市計画道路の整備状況を示す指標です。
現状値は、市内39路線88,540mの延長に対しての、平成25年度の進捗率です。
目標値は、平成30年度までに71%をめざすものです。

幹線道路を利用した車での平均移動時間		計画道路整備課				
	H26	H27	H28	H29	H30	
現状値	18	→				17
単位:分	実績値	18	/			

【説明】 車での移動時間の短縮から道路整備の取り組み状況を示す指標です。
現状値は、平成26年度における所沢市役所から幹線道路を利用した東西南北のまちづくりセンター(柳瀬・三ヶ島・吾妻・富岡)までの平均移動時間です。
目標値は、平成30年度までに17分をめざすものです。

規格改良済車道延長		建設総務課				
	H25	H27	H28	H29	H30	
現状値	528	→				538
単位:km	実績値	532(H26)	/			

【説明】 道路整備の取り組み状況を示す指標です。
現状値は、専用自転車歩行者道を除いた市道のうち、平成25年度までに舗装され、両側に側溝が整備されているなどの改良済みの道路延長距離です。
目標値は、平成30年度までに538kmをめざすものです。

第4節 交通

～ 多様な交通手段を用いて、誰もが安心・安全に移動できるまち ～

7-4-1 交通政策の推進

優先	地域公共交通検討事業	企画総務課 (交通政策室)	既存	H28	1,323	
			期間: H26～	H29	未定	
	概要	当市における市内各地域の交通弱者等に対する円滑な交通手段の確保及び利便性を向上させるための対策について検討するものである。			H30	未定
					H31	未定

7-4-2 安全で快適な交通環境の整備

(千円)

最優先	西所沢駅西口開設推進事業	交通安全課	既存	H28	329,897	
			期間: H17～	H29	未定	
	概要	平成17年に改札口開設に関する請願が提出され、市議会で採択されたことを受け、関係機関等との協議を進めてきた。平成28年度は、平成27年度に策定した『西所沢駅西口開設整備計画』に基づき、道路の測量・設計、関係用地の取得、施設の設計等を行う。			H30	未定
					H31	未定

重要	交通バリアフリー推進事業	交通安全課	既存	H28	86
----	--------------	-------	----	-----	----

7-4-3 鉄道・バスなどの公共輸送の充実

(千円)

優先	市内循環バス(ところバス)運行事業	交通安全課	指標	既存	H28	134,597
			期間: H10～	H29	133,377	
	概要	平成10年度より公共施設の利便性向上、市内の交通不便地域の解消及び高齢者・障害者等の交通弱者対策を図ることを目的として運行している。平成28年度は、平成29年に開設予定の『(仮称)こどもと福祉の未来館』への乗り入れに伴うダイヤの見直し作業等を行う。			H30	133,377
					H31	133,377

重要	都市高速鉄道12号線導入促進事業	企画総務課(交通政策室)	既存	H28	51
	ノンステップバス導入促進事業	交通安全課	既存	H28	3,600

◆◆◆計画期間における目標指標

「ところバス」利用者数		交通安全課			
	H25	H27	H28	H29	H30
現状値	353,217	363,000	368,000	373,000	378,000
目標値					
実績値		392,000			
	単位: 人				

【説明】 公共輸送の充実に対する取り組み状況を示す指標です。
現状値は、平成25年度の「ところバス」利用者数です。
目標値は、毎年度5,000人の増加をめざすものです。

ノンステップバスの導入率		交通安全課			
	H25	H27	H28	H29	H30
現状値	78.2	79.5	79.5	79.5	80.8
目標値					
実績値		84.4			
	単位: %				

【説明】 公共輸送の充実に対する取り組み状況を示す指標です。
現状値は、平成25年度のノンステップバスの導入率です。
目標値は、平成30年度までに80.8%をめざすものです。

第5節 上水道

～ 災害に強く、安全で良質な水が安定して供給されるまち ～

7-5-1 水資源の確保と有効利用

(千円)

優先	取水施設保全事業	給水管理課	指標	既存	H28	8,932
			期間: H5～		H29	11,567
	概要	渇水時や災害時などの水源としても活用できるよう、取水井の清掃及び機能診断を行い、地下水の揚水量を確保していくものである。			H30	11,706
					H31	11,846

7-5-2 安全な水の安定供給

(千円)

最優先	浄水場整備事業(耐震補強事業)	給水管理課	指標	既存	H28	154,623
			期間: H21～		H29	123,175
	概要	浄水場の配水池等について耐震診断を順次行い、耐震補強が必要な場合、耐震補強設計及び耐震補強工事を実施し、災害に強いライフラインを構築するものである。			H30	378,506
					H31	333,044

優先	導・送・配水管整備事業	水道建設課		既存	H28	3,030,007
			期間: H23～H32		H29	3,405,156
	概要	老朽化した水道管(導水管・送水管・配水管)について、より耐久性のあるダクタイル鋳鉄管への更新を行うものである。			H30	3,492,269
					H31	3,489,370

重要	水道管維持管理事業	給水管理課		既存	H28	173,567
----	-----------	-------	--	----	-----	---------

◆◆◆計画期間における目標指標

自己水源(取水井)の点検実施率		給水管理課			
	H25	H27	H28	H29	H30
現状値	30	50	60	70	80
単位: %	目標値	実績値			
		50			

【説明】 渇水時や災害時を含め、水を安定供給するための自己水源の確保・保全に対する取り組み状況を示す指標です。現状値は、平成25年度までに通常の維持管理に加え、井戸内部の点検等を実施し、機能保持を確認した井戸の割合です。目標値は、平成30年度までに80%をめざすものです。

配水池の耐震化率		給水管理課			
	H25	H27	H28	H29	H30
現状値	25.0	46.7	57.6	60.9	71.7
単位: %	目標値	実績値			
		46.7			

【説明】 水を安定供給するための配水池耐震対策に対する取り組み状況を示す指標です。現状値は、平成25年度までに耐震対策が完了している配水池容量の割合です。目標値は、平成30年度までに71.7%をめざすものです。

第6節 下水道

～ 災害に強く、生活環境の改善や水環境の保全に寄与する下水道が整備されたまち ～

7-6-1 下水道事業経営の効率化

7-6-2 生活環境の改善と公共用水域の水質保全

(千円)

最優先	下水道管渠布設事業	下水道整備課	指標	既存	H28	1,103,133	
			期間: S32～		H29	1,272,000	
	概要	生活環境の改善と公共用水域の水質保全のため、市街化調整区域の下水道整備事業を進めるものである。			H30	1,262,000	
					H31	1,030,000	
重要	清掃施設周辺整備事業	資源循環推進課			既存	H28	※事業費は下水道整備課「下水道管渠布設事業」に含む

7-6-3 災害に強い下水道整備の推進

(千円)

優先	下水道地震対策事業	下水道整備課	指標	既存	H28	201,558	
			期間: H21～		H29	202,559	
	概要	緊急輸送道路などに埋設されている下水道管の耐震化を図る「防災」と、被害の最小化を図る「減災」を組み合わせ、災害に強いライフラインの構築を進めるものである。			H30	162,000	
					H31	162,000	
	下水道長寿命化対策事業	下水道整備課			既存	H28	20,000
			期間: H23～		H29	136,000	
概要	下水道管渠施設の老朽化に伴う事故などを防止するため、下水道施設の延命化を図るものである。			H30	150,000		
				H31	180,000		
重要	下水道維持管理事業	下水道維持課			既存	H28	636,529
	都市下水路維持管理事業	下水道維持課			既存	H28	23,093

◆◆◆計画期間における目標指標

下水道普及率		下水道整備課				
現状値	H25	目標値	H27	H28	H29	H30
	92.9		93.3	93.5	93.8	94.0
	単位: %		実績値	93.0(H26)		

【説明】 下水道普及の取り組み状況を示す指標です。
現状値は、平成25年度の本市の人口に対して公共下水道を使用できる人口の割合です。
目標値は、平成30年度までに94.0%をめざすものです。

マンホールの耐震化率		下水道整備課				
現状値	H25	目標値	H27	H28	H29	H30
	13.7		51.0	74.5	100	100
	単位: %		実績値	45.1		

【説明】 「下水道総合地震対策計画」の緊急対策対象路線内で耐震化が必要なマンホール(51箇所)の改修状況を示す指標です。
現状値は、平成25年度までにマンホールの耐震化が完了している割合です。
目標値は、平成29年度までに100%をめざすものです。

第7節 住宅・住環境

～ 誰もがいつまでも安心して住み続けられるまち ～


7-7-1 安心・安全で良好な住宅や住環境整備の推進

(千円)

優先	我が家の耐震診断・耐震改修補助事業	建築指導課	既存	H28	7,000
			期間: H21～	H29	7,000
	概要	本事業は、住宅等の耐震化を図るため民間建築物の耐震診断(改修)費用の一部を補助するものであり、「所沢市建築物耐震改修促進計画」(平成21年度)に基づき、市民が安全で安心して暮らせる災害に強い住環境の整備を促進してきた。平成28年度以降も継続する。		H30	7,000
				H31	7,000

7-7-2 適正な公営住宅の管理・運営

(千円)

最優先	市営住宅施設整備事業		市街地整備課	既存	H28	16,200
				期間:	H29	16,233
	概要	所沢市公共建築物修繕計画に基づき、経年劣化による外壁改修が必要な市営住宅松郷団地について改修工事を実施し長寿命化を図るものである。		H30	16,233	
				H31	16,233	

優先	市営住宅愛宕山団地周辺電波障害対策機器撤去事業	市街地整備課	新規	H28	3,200
			期間: H28	H29	
	概要	愛宕山団地に起因する電波障害地域の電波障害が解消されたことから、市が設置したデジタル放送受信機器の撤去をするものである。		H30	
				H31	
	市営住宅運営事業	市街地整備課	既存	H28	183,337
			期間:	H29	189,320
概要	住宅に困窮する低所得者に良好な居住環境と低廉な家賃の住宅を提供するため、市営住宅の借上げ事業等を行うとともに、市営住宅の適正かつ効率的な運営を図るため、市営住宅の管理代行委託を行うものである。		H30	192,737	
			H31	183,154	

7-7-3 住生活の安定と質の向上

◆◆◆計画期間における目標指標

居住環境の満足度		経営企画課				
現状値	H25	目標値	H27	H28	H29	H30
	66		現状値以上			
単位: %		実績値	62.2			

【説明】住環境に関する取り組みの成果を測る指標です。
現状値は、平成25年度の市民意識調査の設問「あなたは、お住まいの地域の街並みなどの周辺環境、住宅の広さや採光・通風などの住環境に満足していますか」に対し、「満足」「まあまあ満足」と答えた人の割合です。
目標値は、毎年度、現状値以上をめざすものです。

長期優良住宅・低炭素建築物等計画の認定件数		建築指導課				
現状値	H25	目標値	H27	H28	H29	H30
	220		660	880	1,100	1,320
単位: 件		実績値	213(H26)			

【説明】環境に配慮した住宅施策の成果を測る指標です。
現状値は、平成25年度の長期優良住宅・低炭素建築物等計画の認定件数です。
目標値は、毎年度、220件の増加をめざすものです。